

400



<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>

## 豊中・サンマテオ姉妹都市



## 提携ニュース

2009

<http://www.ci.sanmateo.ca.us/>



豊中・サンマテオ姉妹都市協会  
Sister City Association Toyonaka-San Mateo  
第39号

くに さだ  
**國貞**

まさ し  
**眞司**

## 豊中商工会議所会頭を**選出**

昨年(2008年)6月の役員会で会長に國貞眞司さんが選出されました。



### 会長 就任 挨拶

三河 寛治会長の後任として、平成20年6月4日の役員会におきまして、新会長に選ばれましたが、その責務の重大さを改めて痛感しているところでございます。

昭和39年10月に当協会が設立いたしました以来、文化・スポーツを中心にさまざまな交流を展開することができましたのは、役員をはじめ、会員の皆様のご理解、ご協力のたまものと深く感謝申し上げます。

設立後45年を経過し、時代背景も随分変わってまいりましたが、長年培ってこられた友好のきづなを大切に、さらなる友好交流の発展と、よりよい協会づくりに微力ながら頑張りたいと考えております。

今後とも会員の皆様には、従来にもまして一層のご支援とご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

## 歴代会長

初代  
市村 善次

1964年(昭和39年)  
10月就任



3代  
福盛 佐一郎

1980年(昭和55年)  
10月就任



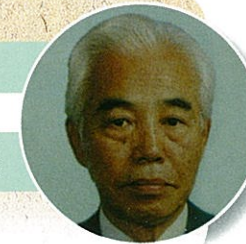
2代  
広石 幸八郎

1977年(昭和52年)  
9月就任



4代  
三河 寛治

1997年(平成9年)  
6月就任



# 私たちの サンマテオ 訪問記



昨年8月7日～13日にかけて「第36回高校生英語弁論大会」の豊中市長賞 田中綾さんとサンマテオ市長賞 木埜由紀子さんが親善使節としてサンマテオ市へ派遣されました。

お二人は1週間のホームステイを楽しむとともに、沢山のの人々とふれあい、忘れがたい経験をして帰ってこられました。訪問時の感動を感想文として寄せていただきましたので紹介します。

## 豊中市長賞受賞 田中 綾さん



2008年の夏、豊中市と姉妹都市のサンマテオ市を親善使節として訪れました。

私は英語弁論大会に出る前は、人見知りをするし、人前で話すのがとても苦手でした。だからこの苦手を克服し、自分を積極的に変えられる良い機会だと思い参加することにしました。そこで、私は保育園でのボランティア経験で学んだことや、意思の疎通、人と人との絆の大切さについてスピーチしました。

説明会から10日あまりで出発となり、忙しい日々でした。到着から小さなハプニングがありました。

霧による視界不良の為、到着が1時間も遅れました。当初迎えにきていただける方は日本語が堪能なビクターさんという方で、着いてすぐは不安なことや質問もあるだろうから、何でも日本語で質問しても大丈夫だと聞いていました。ところが、実際にいらしたのはジョージさんで、まさか違う方がいらっしゃるとは思っていませんでした。今だから笑える出来事ですが、まだ緊張していた私は、ジョージさんをビクターさんだと思い込んでいたので、どうして日本語で会話していただけないのだろうか、とても不安になりました。共に行動し会話を続けているうちに、彼がジョージさんだとわかったのは、その日の夕方のことでした。コミュニケーションは大事だと痛感した初日でした。



ジョージさん

私はサンマテオ市に滞在中、イタリア系アメリカ人女性のヴァージニアさんのお宅にホームステイさせていただきました。彼女は図書館司書をしている方で、彼女の職場を見学させていただきました。

図書館は数年前に改装されたエコも取り入れられた広く美しい建物で、蔵書も英語だけでなく日本語、中国語などの色々な言語の本もたくさんありました。

他にもたくさんの方が、私たちをサンマテオ市の学校や日本庭園、サンフランシスコのゴールデンゲートブリッジ、ロンバートストリート、ピア39、フィッシャーマンズワーフやパロアルトのスタンフォ





サンマテオ高校



スタンフォード大学

ード大学、サンタクララのグレートアメリカなど本当に毎日朝から晩まで色々な所へ連れて行ってくださいました。普通の観光では、観ることができないようなアメリカを観られたような気がします。

出発前は、英語をうまく話せないで、自分の言いたいことがちゃんと伝えられるか本当に



ピザ店で

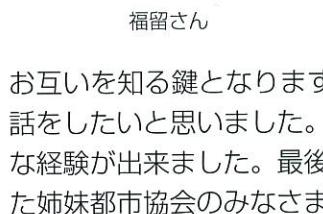
不安でした。初めはやはり緊張して言葉が出てこなかった時もあり、大変な思いをすることもありました。しかし、ジェスチャーを交えたり、辞書を使って一生懸命話すと相手の方も理解しようと真剣に聞いてくださいました。また、私が理解できるようにゆっくりと話してくださり、みなさん親切な方ばかりで、不安などなくなりました。

そして、いつしか完璧な英語が話せなくても、会話が出来、コミュニケーションがとれると思うようになりましたし、もっとたくさんの人と話をしたいと思うようになりました。

また、滞在中には、現地に住む日本人学生の方や日本庭園で働く方から貴重なお話を聞く機会もありました。現地在住の日本人から見たアメリカのお話は面白かったです。

たくさんのお出会いがあり、それぞれの性格や考え方に接した上で、コミュニケーションは私たちにとって

お互いを知る鍵となります。この経験を活かし、英語をもっと勉強し世界中の人達と話をしたいと思いました。1週間という短い期間でしたが、多くのものを得られ大変貴重な経験が出来ました。最後になりましたが、このようなすばらしい機会を与えてくださった姉妹都市協会のみなさまに感謝いたします。



福留さん



ヴァージニアさん

### サンマテオ市長賞受賞 木埜 由紀子さん

サンマテオの1週間のホームステイは本当にすばらしいものでした。高校生2人だけで海外旅行をするなんて初めての体験だったので不安でしたが、同時に初めて訪れる場所や初めて会う人たちへの期待でとてもわくわくしていました。そんな中、約10時間のフライトを終えサンフランシスコ空港に到着しました。そこでビクター岩本さんという、日本語を話すことができる日系人の男性の方に会うことになっていました。それでロビーに着くと私たちを待っていていたおじさんと無事会うことができ、その後サンマテオ高校に行ったりショッピングしたり楽しい時を過ごしました。が、彼は少ししか日本語を話せないらしく年齢も10歳くらい違っていたので、私た



ちは「これは何かの手違いなのか」という疑問を持ったまま彼の家へと向かいました。そこでサンマテオの方へのお土産の件を彼に相談するつもりだったので「私は姉妹都市協会の方々、ホストファミリーの方、そしてあなた、ビクター岩本さんにお土産があります。」といました。すると私たちのびっくりするような答えが返ってきました。「えっビクター岩本！？僕の名前はジョージだよ。」と。この一言で私たちはすべてを理解したのでした。実は本物のビクターさんは私たちのホームステイ中ずっと仕事で忙しく結局会うことはできなくて残念でしたが、この話がジョーク好きのジョージの話のネタの1つに加わったことは言うまでもありません。この日の他にもジョージにはお世話になりとても親切にしてくださいました。なので最終日に空港で別れるときは本当にさみしかったです。ジョージは私にとって第二の父のような存在です。ホストファミリーのヴァージニアさんには大変お世話になりました。毎朝おいしい朝食を作ってくれたり、星空を見にドライブに行ったり、街を散策してたい焼きを食べたり……。中でも私はヴァージニアさん



ディナー

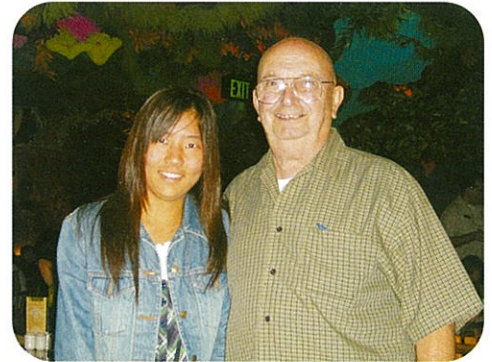


メリッサとリサ

さん手作りのピーチケーキが大好きで空港に行く前にもいくつかお土産に持たせてくれました。またわかりやすい英語で話してくれ、私が上手く話せなくても一生懸命わかってくれようとして下さいました。

くれた福留さん、そして一緒に旅をした田中綾さん、またこの旅行に関していろいろなお尽力を下さった豊中・サンマテオ姉妹都市協会及びサンマテオ市のみなさんなど、本当に多くの人にお世話になりました。このような貴重な体験をすることができたことを心から感謝します。

このアメリカ旅行で一番実感したのは、完璧な英語を話せなくても伝えようとする強い気持ちがあれば意思は伝わるということです。ありがとうございました。



ディマテオさん

私が1番印象に残っている場所はフィッシャーマンズワーフです。そこにはディマテオさん一家が連れて行って下さり、とても景色のきれいな港町でした。草の茂みに扮して通行人を驚かせる人や、いろんな国の言葉を話せるジョーク好きのギタリストなどたくさんのストリートパフォーマーがいたり、野生のアシカを間近で見られたりと数々のおもしろい体験をしました。またすぐ近くに牢獄で有名なアルカトラズ島を見ることができました。今度行ったときはクラムチャウダーを食べたいです。

その他にも、ヴァージニアさんと一緒に国定公園に連れて行ってくれた日本人のあやさん、グレイト・アメリカというスリル満点のアトラクションが数多くある遊園地に連れて行ってくれたメリッサとリサ、サンマテオ市長への表敬訪問の後のディナーで初対面にもかかわら

たくさん話してくれたジェリー、日本庭園を案内して



サンフランシスコ湾

# 第37回 高校生英語弁論大会

Annual English Speech Contest



2009年1月31日、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催の第37回高校生英語弁論大会が、とよなか国際交流センターで開催され、10校14人の高校生の皆さんが参加しました。

豊中市長賞の荻田さんは、「スーパーおばちゃん」という題で、大阪のおばちゃんには悪い印象を抱く人がおり、欠点もあるが、それ以上に彼女たちのもったいない精神と友好的な良い所があり、おかげで大阪は日本の中でも人情あふれる街になっている。そんな故郷の大阪を誇りに思っているとユーモアたっぷりに語りました。

サンマテオ市長賞の中山さんは「コンプレックスは母」という題で、中国で生まれ育った母がコンプレックスになり、沢山の辛い事や恥ずかしい思いをする事があったが、ある懇談会での母の言葉によって、いろいろな事に気づき、コンプレックスもプラスに切り替えられることを自らの経験を通して語りました。

国際ソロプチミスト特別賞を受賞した佐藤さんは、「私は台湾と日本のかけ橋になる」と題し、台湾人の母と日本人の父を持ち、日本語の環境で育った自分。母が中国語を教えてくれなかった訳を知り、また、友人や親族との関わりから感じた思いをバネにして中国語を勉強しようと思ったこと、台湾の大学への留学や、通訳ガイドという職業を目指していることなど熱い夢を語りました。

豊中市長賞



【スーパーおばちゃん】  
荻田 航希さん  
関西大倉高等学校

サンマテオ市長賞



【コンプレックスは母】  
中山 翔子さん  
豊島高等学校

国際ソロプチミスト特別賞



【私は台湾と日本のかけ橋になる】  
佐藤 志保さん  
豊島高等学校

# Prize WINNERS

優秀賞



【命の大切さ】  
辻野 有香さん  
聖母被昇天学院高等学校

優秀賞



【失われた少年時代】  
野村 幸恵さん  
梅花高等学校

審査員は昨年に引き続き、千里金蘭大学教授のジュディ・ガーナントさん、大阪女学院大学教授のブライアン・ティーマンさん、大阪女学院大学准教授のウィリアム・クラインさん、当協会監事の川合隆子さんの4人をお願いしました。

大会終了後、審査員からは「全体的に良かったが、語尾の発音が消えてしまう方が数人おり、残念でした。しかし、みなさん内容は個人的な事からアメリカの新大統領など国際的な事まで幅広く、個性的なスピーチで興味を起こさせ、引き込まれるスピーチを聞かせてもらえ、大変楽しかったです。みなさんのスピーチ内容、実力共に僅差で、レベルは年々上がってきていますが、繰り返し練習することで、より素晴らしいものとなっていきます。これからも腕をみがいてください。」との講評をいただき、和やかな雰囲気の中、閉会しました。

なお、豊中市長賞受賞の荻田さんとサンマテオ市長賞受賞の中山さんは、今年の8月14日から1週間、親善使節としてサンマテオ市に派遣される予定です。

※国際ソロプチミスト特別賞は、国際ソロプチミスト豊中・千里からの寄付金により設けられています。

## Sister City Affiliation Toyonaka-San Mateo 新市長はブランド・グロットさん

2008年12月にサンマテオ市議会の改選があり、新市長はブランド・グロットさんに決定しました。新しい人事は以下のとおりです。



■市 長	ブランド・グロット	Brandt Grotte
■副市長	ジョン・リー	John Lee
■議 員	ジャン・エプスタイン	Jan Epstein
■議 員	キャロル・グルーム	Carole Groom
■議 員	ジャック・マシューズ	Jack Matthews

## 新会長はダニエル・ハリスさん

■姉妹都市協会会長	ダニエル・ハリス	Daniel Harris
-----------	----------	---------------

## Baseball

### 少年野球チーム、サンマテオへ！

2009年8月10日～20日にかけて豊中市の少年野球チームがサンマテオ市を訪れ、交流試合を行います。今回は第8回目のサンマテオ市訪問となり、親善友好の絆が深まることを期待しています。

#### 日程表

8月10日	米国へ出発・LA&ハリウッド観光
8月11日	ディズニーランド観光
8月12日	ホストファミリーと対面式
8月13日	サンマテオ市長訪問 / 開会式&第1試合
8月14日	フリー
8月15日	サンフランシスコ観光・第2試合
8月16日	第3試合 & 第4試合
8月17日	第5試合
8月18日	さよならパーティー
8月19日	サンフランシスコ出発
8月20日	帰国

